

障害年金支給継続へ

厚生省 千人打ち切り予告一転

一定の障害がある人に支払われる国の障害基礎年金を巡り、日本年金機構が支給打ち切りの可能性を予告した受給者1010人について厚生労働省は3日、一転して支給を継続する方針を決めた。1010人は20歳前から障害がある人。20歳以降に障害を負った受給者でも2933人が昨年度に支給を打ち切られたが、以前と症状が同じ数百人には支給を復活させる。

給を継続することにした。山本香苗氏（公明）の質問に答えた。既に支給が打ち切られた2933人については、厚生労働省はサンプル調査の結果、症状に変化のない人が

400人程度いると推計。年金機構が診断書を確認し停止した月からの分を秋以降にまとめて支払う予定。受給者の中には数年おきに更新手続きが必要な人がおり、本年度以降に更新す

る人についても症状が同じであれば支給を続ける方針だ。障害基礎年金は20歳前から障害がある人や、自営業など国民年金加入者が病気がやけどで障害を負った場合に支払われる。

障害基礎年金支給打ち切りへの対応策

20歳前から障害がある人

昨年度、更新を迎えた1010人に打ち切りの可能性を通知

→ 支給継続へ

20歳以降に障害を負った人

昨年度、2933人が打ち切り

→ 症状が以前と変わっていない数百人は支給復活

障害基礎年金の判定業務は都道府県ごとに分かれていたが、地域格差をなくすため昨年4月に東京

加藤勝信厚労相は3日の参院厚労委で「ほとんどの方は判定医が代わる。そういった事情を考えないといけない」と説明。年金機構の判定医に対し、これまで支給されていたことに配慮する「総合的な判断」を求め、事実上、支

+

+

+